



神谷 直子 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 「子育てしやすい心豊かなまちへ」について「新高浜小学校をモデルに小学校区ごとの顔がみえる地域をつくります」ですが、現在の進捗状況は？

答 基本設計、机椅子など、詳細な打ち合わせをしています。

問 高浜市三州瓦を利用する計画は？

答 幅8m、長さ5mの屋根やひさし、外壁やモニュメントに利用する予定です。

問 複合化される中で、中高生の居場所は？

答 複合化される中で、子どもから大人まで地域の方が気軽に集えるスペースを考えています。

問 「教育基金の創設により教育関係に特化した政策につないでいきます」について 教育基金の財源は？また、どのような教育に特化か？

答 協議を始めたばかりです。企業等からの寄付、ふるさと納税の一部などを活用し、ICT化、パソコンや電子黒板等を進めたい。

問 2020年に始まるプログラミング教育について、なぜ幼いうちから必要か？

答 プログラミングではなく、プログラミング的思考を養います。情報技術が身近になり、その働きを理解し、自分の目的に合わせて使いこなすことや発達に合わせて学ぶことが必要です。

問 「待機児童ゼロ、働き方に合わせた子育て環境とこども園の整備を進めます」について、働き方に合わせた子育て環境とは？

答 6カ月児からの保育、保育園の民営化、長時間保育や、休日保育の実施、幼稚園の預かり保育、学齢期では児童クラブ、放課後居場所事業、センターキッズなど、働き方に合わせて利用を選択できます。子どもを地域で見守り、健やかに成長できる環境を整えていきます。

問 「活気と魅力があふれるまちへ」について、新しい生涯学習基本構想とは？

答 生涯学習基本計画の後期計画を進め、市史編さん、高浜小学校整備事業、美術館、図書館のあり方検討、生活困窮世帯の子どもの学習支援、キャリア教育等、新たな取り組みや課題、社会動向を踏まえ策定していきます。



杉浦 敏和 議員

市長3期目の 市政運営を問う

問 「安全で安心なまちへ」の具体的施策は。

答 自助、共助で災害や犯罪の予知・予防が難しい部分を「公助」で取り組み、未然に防ぐ軽減対策が重要。ICTを活用した防災・減災、

防犯対策を先進事例を踏まえ、導入に向け検討する。

問 ゲリラ豪雨対策について。

答 過去の浸水被害の大きかった住民に対し、台風や集中豪雨に備え、移動駐車スペース、ポンプの稼働基準やサイレンの吹鳴基準を個別配布、周知に努めている。

稗田川を活かしたまちづくりについて

問 フレンド公園の整備について。

答 少年の主張大会で、論地町の児童が地域で思い切り遊べる広場が欲しいと要望。隣接住宅からフェンスに当たるボールの騒音苦情があり、利用実態を把握し、どうあるべきか検討する。

問 保育園児等が素足で遊ぶ芝生公園。動物の糞尿からの健康被害が心配。その対応は。

答 維持管理は地元NPOたかはま「水明会」で「小さな子どもたちが素足で遊べる状態を維持」をモットーに進められている。皆さんの意見を尊重し、犬・猫の立ち入り禁止で対策する。

問 川のみちは四季の花々を楽しみ、森林浴を感じ、散歩する人を温かく迎えてくれる。川の改修と上流、下流、油ヶ淵へ延伸の計画は。

答 中根橋の架け替え橋梁の基本設計実施中。稗田川と鮫川の合流点改修は、本市の鮫川改修計画と整合性を図り進め、合流点の人道橋についても県と協議し、今後、議会・地元へ説明する。

問 県の「油ヶ淵水辺公園」との繋がりは。

答 水辺公園供用開始の時期に合わせ、「川のみち」延伸について、衣浦五市と愛知県との整備促進協議会に出していきたい。

問 本市「緑の基本計画」自然学習及び高取まちづくり協議会「稗田川、花と緑のふれあい公園」事業に、清水町のホタルの養殖、からす山と鮫川一帯、松竹梅公園構想の組み込みは。

答 自然学習・ホタルの養殖は、地域の行事に参加を指導。松竹梅公園構想は検討する。